

水曜ぶらす

スマート シニア

ネットと高齢者

①

軽やかな音色で、電子ピアノの合奏が始まった。でも、集まった人たちが持っているのは楽器ではない。米アップルのタブレット端末「iPad」(アイパッド)だ。

福岡県太宰府市の藤澤修三さん(64)は昨年12月、アイパッドの愛用者でつくる「iClub(アイクラブ)福岡」の集まりに参加した。タッチパネル画面に出てきた鍵盤に触れて曲を演奏。その様子を動画投稿サイト「ユーチューブ」に掲載し、東日本大震災の被災地の子どもたちに見てもらおう試みだ。

「これは音楽演奏のアプリケーショソフソフト(アプリ)

仲間とアプリ「楽しい」

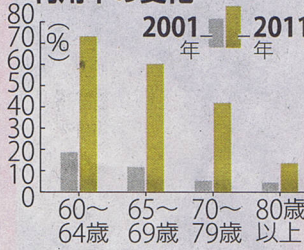


藤澤さん(左端)に教わりながら音楽を演奏する中高年の人たち(福岡市中央区) 〓貞末ヒトミ撮影

です。簡単に楽しいですよ」と、藤澤さんは画面に指を滑らせた。弾くべき鍵盤の色が変わるので、指示通りに触れなければ曲が奏でられる。

アイクラブ福岡は、藤澤さんが会社員の工藤洋輔さん(39)と昨年6月に設立した。20〜60歳代の人たちが月1回集まり、仕事や遊びに役立つ様々なアプリの使い方を練習している。この日は、「上を向いて歩こう」などを収録。「曲の速さは『70%』でいきましよう」と指揮役の工藤さんが呼びかけると、みな速度

高齢者のインターネット利用率の変化



を「70%」に設定した。藤澤さんは広告会社の社長。以前は仕事で携帯電話やパソコンを使う程度だったが、3年半前にスマートフォン「iPhone(アイフォン)」を使い始め、「タッチパネルでさくさく操作できる便利さにハマった」。

2010年5月にアイパッドが日本で発売されるとすぐに購入。スケジュールやデータを管理するアプリを使い、紙の手帳は使わなくなった。書類や企画書も印刷しない。好きな曲や家族の写真を保存。本も、電子書籍の方が字を拡大できて読みやすいという。

エイズブック」の「友人」は900人。「腕立て292回終了」などと書き込むと、友人たちが「いいね!」と共感の印をクリックしてくれる。

101歳の現役医師、日野原重明さんが設立した「新老人の会」は、フェイスブックでネットワークを広げる活動に力を入れており、藤澤さんもそのメンバーだ。「人と人がネットにつながる時代。IT(情報通信技術)に通じた賢い高齢者『スマートシニア』を増やしたい」

座っている時間が長くなると腰痛が出たため筋トレを始め、体がぐっとしまったことは思わぬ副産物だった。インターネットの交流サイト「フ

総務省の調査では、60〜64歳のインターネット利用率は、この10年で19.2%から73.9%に増加。70〜79歳も5.8%から42.6%に増えた。ITの発達で、高齢者の暮らしはどう変わるのだろうか。(玉城夏子)